



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.23

地域医療の充実へ向けて!

3月定例会：一般質問 人間ドック拡充の取組について

発言趣旨

我が国の医療政策は治療中心から予防、早期発見へ移っていますが、その中でも「人間ドックの拡充」は、がんの早期発見、生活習慣病予防や重症化防止等につながることから、本市にとっても大きなメリットがあり、人間ドックの拡充に向けた取組が敦賀病院で進められていることは、**健診受診率が低い本市の健康政策の転換点**となり得るものと評価しています。その一方で、病院職員の働く環境のあり方など、持続可能な病院運営を考える上で重要な課題も顕在化していますので、今回の一般質問で**市民の健康増進と持続可能な医療体制の両立**という観点から質問します。

質問事項

人間ドックの拡充は、単なる病院経営改善ではなく、本市の健康政策の転換点になり得るのではないかと考えますが、市長の見解を伺います。

市長の答弁 (一部)

市民の健康づくりの観点から、人間ドックの拡充は重要な施策であると認識しています。敦賀病院の人間ドックの拡充が、本市の健診受診率を上げることにつながるようにしたいと思います。

(中略)

第8次敦賀市総合計画において「安心と暮らしやすさ」を政策テーマの一つとし、取組方針として「地域医療を支える敦賀病院の機能充実や市民の健康づくり等を支援」を掲げております。このことから敦賀病院の人間ドックの拡充が「安心して暮らせるまちづくり」に大きく寄与するものと考えています。

3月定例会：一般質問 带状疱疹ワクチン補助について

発言趣旨

米国の100以上の医療システムにおける17万4,000人のデータを解析した結果、シングリックス接種の効果は带状疱疹発症の予防にとどまらず、血管イベントの抑制、認知症リスクの大幅な低減等の副次的な効果も期待できる可能性がIDWeek 2025で発表されたことを受け、今回は**シングリックスの接種率の向上を目指して**提言します。

質問事項

最新の医学的知見や他自治体の動向を踏まえ、带状疱疹ワクチンとりわけシングリックスについて、50歳以上の市民への助成対象の拡大を提言します。あわせて、今後の研究動向や国の制度改正を注視しつつ、本市として独自に検討を行う考えがあるかについて答弁を求めます。

部長の答弁 (一部)

带状疱疹ワクチンの接種費用について、50歳以上の市民への市独自の助成は、直ちに実施することは考えておりません。しかし、議員から紹介がありましたように、他市町の助成状況やシングリックスの副次的な効果に関する研究成果、およびそれに伴う国の制度改正を注視しながら、今後も带状疱疹ワクチンの接種率向上に向けて進めていきたいと考えています。

私の想い

私は、今回一般質問を行う4日前にシングリックスを接種しました。医療機関によって違いはありますが、お支払いした費用が22,000円/1回(計2回の接種が必要)で、効果が期待できる一方で接種費用が高額になりますので、今回の質問で**50歳以上の市民に対する助成**を求めました。

現在、嶺南地域(2市4町)の50歳以上を対象にしたシングリックスの助成について、

高浜町…1回あたり接種費用の2分の1(上限額10,000円/1回)の助成

おおい町…接種費用の3分の1の自己負担金(上限額7,100円/1回)で接種可能

上記のとおり、既に助成を実施している近隣自治体もありますので「市民の健康増進に向けて」引き続き本市の予防医療についても提言を行っていきます。

裏面には、今回の一般質問で使用した資料を掲載しましたので、よろしければご覧ください。



3月定例会の一般質問時に議場で配付した資料を紹介します。

独自で収集したこの資料をもとに、議場でシングリックスの接種率向上を目指して提言しました。

2024年から2025年にかけて発表された米国の研究では、シングリックスと肺炎球菌ワクチンを比較対象とし、シングリックスの方が心血管イベントや認知症のリスクをより顕著に低減させたという報告が注目を集めています。

「シングリックスは、ウイルスそのものを弱毒化した生ワクチンではなく、帯状疱疹ウイルスの表面に存在する糖タンパク質E (gE) を抗原とした世界初の組換えサブユニットです。」

比較研究の主な内容 (IDWeek 2025等での発表)

「IDWeekは感染症学における世界最大級の国際学会です。」

米国約100以上の医療システムにおける17万4,000人のデータを解析した結果、以下の傾向が示されました。

・血管イベントの抑制

シングリックスを接種したグループは、肺炎球菌ワクチン (PPSV23等) を接種したグループと比較して、**心筋梗塞や脳卒中のリスクが約25%低い**という結果が出ました。また、血栓症 (血液の塊) のリスクも約27%低かったとされています。

・認知症リスクの大幅な低減

シングリックス接種群は、肺炎球菌ワクチン接種群に比べ、**血管性認知症のリスクが約50%低かった**と報告されています。

・肺炎球菌ワクチンの独自データ

一方で、肺炎球菌ワクチン (23価) については、日本の大規模調査 (VENUS研究) では心筋梗塞や脳卒中のリスク低下が示唆されているものの、米国の別の試験 (2025年発表) では、プラセボ (偽薬) と比較して有意な心血管イベント予防効果は認められなかったとする報告もあり、予防効果の評価は分かれています。

結論としての位置づけ

これらの最新研究により、シングリックスは単なる「帯状疱疹の予防」にとどまらず、副次的な効果として**脳や心臓の血管保護**においても、他の一般的な高齢者向けワクチン (肺炎球菌ワクチンや従来の帯状疱疹生ワクチン) を上回るメリットがある可能性が強まっています。

出典:高齢者における帯状疱疹ワクチン接種と、主要心血管イベント、認知症、および全死亡リスクの低下との関連 (原題: Herpes Zoster Vaccination is Associated with Lower Risks of Major Adverse Cardiovascular Events, Dementia, and All-Cause Mortality in Older Adults) IDweek2025にて米ケース・ウェスタン・リザーブ大学医学部のAli Dehghani氏らが発表の研究結果

今回の話題との関連

シングリックスが心筋梗塞や脳卒中、さらには認知症のリスクを低下させるという**最新の研究結果**がこの「IDWeek 2025」で発表され、世界中の医療関係者の間で大きな話題となりました。いわば「感染症のプロたちが集まる世界大会」で、シングリックスの新たな価値 (血管病の予防効果) が証明・発表されたということです。帯状疱疹ワクチン「シングリックス」を巡っては、**米国の約17万人**を対象とした大規模な研究データにより、**脳梗塞 (脳卒中) や心筋梗塞**といった重大な心血管イベントの発症リスクを抑制する可能性が示唆されています。

発表のポイント

- ・ **研究の規模:** 2024年に発表された研究では、シングリックスを接種した約10万人と、従来の生ワクチン (ズスタバックス) を接種した約10万人を比較しました。
- ・ **予防効果:** シングリックス接種群は、生ワクチン接種群と比較して、接種後1.5年以内の脳卒中リスクが約15~20%低減し、心筋梗塞のリスクも約25~30%低減したことが報告されています。
- ・ **認知症への影響:** 同研究では、シングリックス接種群で認知症の発症リスクが17%低かったことも示されており、帯状疱疹ウイルスの再活性化による全身的な炎症を抑えることが、脳や心臓の健康維持に寄与する可能性が注目されています。

なぜ脳・心臓の予防になるのか?

帯状疱疹ウイルスは血管にも炎症 (血管炎) を引き起こすことが知られています。発症後数ヶ月間は脳梗塞のリスクが2~3倍に跳ね上がるというデータもあり、ワクチンでウイルスの活動を抑えることが、結果として血管病変の予防に繋がると考えられています。この研究は米国の臨床データを解析したもので、さらなる検証が進められています。**50歳以上**の方は、厚生労働省の情報を参考に、自治体の助成制度などを活用して、シングリックスの接種を検討することをお勧めします。

出典:「組み換え帯状疱疹ワクチンは認知症のリスク低下と関連している (原題: The recombinant shingles vaccine is associated with lower risk of dementia)」
著者:マキシム・タケ、クエンティン・ダーコン、ポール・ハリソン
掲載誌:Nature medicine Vol.30, Issue 4, 2777-2781ページ, 出版年2024年

編集後記

敦賀市議会議員にならせていただき、4月で丸11年になります。私事ではありますが、初当選時に小学生だった長男は4月に大学4年生になり、この原稿を書かせていただいている最中に「第一志望の企業に内定をもらいました!」との連絡が入りました。高校サッカー部で3年間頑張った次男は、2月に東京都で開催された卒業式を終え、4月からは長男と同じ大学へ通うことになりました。また、我が家が大好きな三男は地元の高校で学ばせていただき、サッカーが大好きな四男は4月から中学生になります。子育てにもいろいろな形がありますが、私は「子どものやりたいことを尊重すること」を意識して息子たちと向き合ってきました。同時に「敦賀の子どもたちが安心して過ごせる環境整備の充実」を図るため、地味ながら努力を積み重ねてきました。具体的には、新人議員の頃から取り組んできた通学路やスクールバス、および学校給食センターやサッカー場整備に向けた提言、そして、不登校やいじめ問題と真正面から向き合い、経済的な理由で子どもたちの進路が制限されないよう奨学金制度の創設等についても提言を行ってきましたが、子育て世代の市議会議員として、これからも、敦賀の子どもたちの明るい未来のために全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



豊田こういちレター Vol.23

2026年3月23日発行
発行責任: 市民クラブ
編集責任者: 豊田耕一

YouTubelにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、**豊田耕一オフィシャルサイトも是非ご覧ください!**
政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



子どもたちが、**故郷で健やかに育っていくために!**

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com

